

会場のご案内：  
青山学院 青山キャンパス



●JR山手線・東急東横線・京王井の頭線他「渋谷」駅下車  
徒歩約10分

●地下鉄（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道」駅下車  
B1出口徒歩約5分

※お車でのご来場はご遠慮願います。



青山学院スクール・モットー  
地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World



青山学院大学大学院 専門職大学院事務室  
「会計プロフェッション研究センター・  
第3回公開シンポジウム」担当  
TEL03 (3409) 8025

◆参加ご希望の方は下記サイト内「イベント情報」  
よりお申し込みください。

<http://www.aoyama.ac.jp/>

青山学院大学大学院  
会計プロフェッション研究センター

## 第3回公開シンポジウム



## わが国会計基準の進むべき道

— 国際会計基準(IFRS)の受入れ(アドプション)  
へのマイルストーン—

2009年1月10日(土) 14:30-17:40

## ごあいさつ

青山学院大学大学院  
会計プロフェッション研究センター長

青木 茂男

青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科は、高度な会計理論と実務の教育、研究を目的に、会計専門職大学院として開設以来4年目を迎えております。現在、公認会計士受験者、スキルアップを目指す社会人など160人が学んでおりますが、本研究科は倫理教育の重視、国際的な連携、会計サミットの開催、博士後期課程の開設など、その斬新的試みや社会的役割の先駆的な履行などから開設以来、各方面の注目を浴びてきました。

会計専門職大学院のミッションの一つに教育、研究成果の社会に対する発信がありますが、今回は「わが国会計基準の進むべき道 — 国際会計基準(IFRS)の受入れ(アドプション)へのマイルストーン—」というテーマで公開シンポジウムを開催することになりました。

世界の多くの国でIFRS導入の潮流が強まっており、わが国もその流れの中にあります。もし日本もIFRS導入した場合には企業経営、公認会計士監査、投資家そして会計学界にどのような影響を及ぼすのか。極めてホットな議論です。登壇いただく方も、これ以上の適任者はいないというほどのフロントランナーにお願いすることが出来ました。活発な議論が交わされるものと期待しております。

新年早々ですが新年の流れを占うに適した興味深いテーマです。皆様の期待に充分応えるものと確信しております。

日時： 2009年1月10日（土） 14:30開始(14:00開場)

場所： 青山学院大学 青山キャンパス ガウチャー・メモリアル・ホール

### ◆開会

司 会 松井 隆幸（青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科・教授）

開会挨拶 青木 茂男（青山学院大学大学院会計プロフェッション研究センター長）

### ◆第一部 特別講演（14:35—15:20）

#### 「会計基準統一化の動向に対するわが国の対応」（仮題）

井上 俊剛 氏（金融庁総務企画局 国際会計調整室長）

— 休憩（15:20～15:40） —

### ◆第二部 パネル討論会（15:40-17:40）

#### 「わが国会計基準の進むべき道

#### —国際会計基準(IFRS)の受入れ(アドプション)へのマイルストーン—」

パネリスト（順不同）

山田 辰己 氏（国際会計基準審議会・理事）

西川 郁生 氏（企業会計基準委員会・委員長）

阿部 泰久 氏（（社）日本経済団体連合会・経済第二本部長）

木下 俊男 氏（日本公認会計士協会・専務理事）

コーディネータ

橋本 尚（青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科・教授）

●本シンポジウムは日本公認会計士協会の認定研修（3単位）となります

●参加ご希望の方は事前にお申し込みが必要です。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

<http://www.aoyama.ac.jp/>